

..... 編集後記 .....

◆11月号の特集は「炭化水素鉱床Ⅱ」です。本年3月号に掲載された「炭化水素鉱床Ⅰ」の続編です。これらの企画は平成5年度から開始された工業技術院特別研究「島弧型炭化水素ポテンシャルの形成機構と予測手法に関する研究」の中間レビューの一環として企画されたものです。前回は「基礎及びグローバル編」として炭化水素鉱床の形成環境と形成機構についてグローバルな視点からレビューし、石油根源有機物の初期統成過程の研究の現状、ガスクロマトグラフ燃焼質量分析計による今後の研究展望、石油生成と熟成指標の動的モデリングに関する研究等のレビューを掲載しました。今回はその「応用及び島弧編」です。炭化水素鉱床は単にエネルギー資源としてだけでなくグローバルな環境変動—海水準変動や古海洋環境の変動など—との関連で見ていく必要があるものです。また、そうした応用的なアプローチとともに日本の位置する島弧という地域的なテクトニクスの枠組みの中での検討も

あわせ必要となってきます。今回の特集の焦点はこうした点にありますがいかがでしたでしょうか。

◆表紙は地質部の土谷さんに海底火山噴出物中に貯留する炭化水素鉱床の例として、秋田—山形油田地域の青沢層玄武岩質火砕岩の写真を提供していただきました。

◆口絵は多田さんの提供による平行葉理の写真です。お楽しみください。

◆巻頭エッセイは花岡地殻物理部長にお願いしました。迅速な御協力ありがとうございました。また、投稿もお受けいたしますのでご意見お寄せください。

◆吉川さん他の地質部の方々には8月に行われたポスターセッション方式による研究発表会「最新地質図発表会」の報告をしていただきました。地質調査所の代表的な成果物である各種地球科学図類の普及・広報活動にも充分役にたったのではないのでしょうか。今後ともよろしく願いいたします。

〈編集委員長 加藤碩一記〉

地質ニュース編集委員会

委員長：加藤碩一

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井 登・岡村行信・杉原光彦・

野田徹郎・吉井守正・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係（山崎 浩・清水真寿美）

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地 質 ニ ュ ー ス

第495号 1995年 11月号

定価 ￥770 千 実 費

1995年11月1日 発行

編 集

発 行 人

発 行 所

印 刷

工業技術院地質調査所  
株式会社 実業公報社  
代表者 林 光生  
株式会社 実業公報社  
東京都千代田区九段北1の7の8  
Tel. (03)3265-0951 (代表) 〒102  
振替口座 00110-6-32466  
麹町局私書箱第21号

小宮山印刷工業株式会社

©1995 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。